

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○8月9日～

先週末の雇用統計は強い結果となりました。米株は高値更新しており、リスクオン相場がお盆も続くかどうか注目したいです。

リスクとしては、米国の消費者物価指数が予想より上昇している場合、金融緩和縮小が早まる可能性も出てきます。米国の経済は持ち直してきているため金融緩和がどの程度続くかです。カナダはすでに金融緩和をやめる方向で動き出しており、北米経済が好調となれば株のQE相場も終わりが近づいているということです。

為替相場では、中長期的にドル高の動きが継続するかを見ておくことが大事です。

<ドル/円>

ドルは110.8円を超えてくれれば再度高値更新していく可能性が出てきました。

110.6-110.8円あたりの抵抗を超えることができるかに注目したいです。

下値は、109円台後半を維持できれば堅調な動きが期待できそうです。

109円を割れてくると円高リスクが出てきそうです。

<気になるクロス円>

クロス円は5月、6月の高値からの下落が止まるかどうか重要です。

豪ドルなどは日経平均のチャートともよく似ているため日本株の動きも見ておくといいかもしれません。しばらく軟調な動きが続く可能性もあるので、高値買いは避けたいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では6月貿易収支などがあります。

米国では7月消費者物価指数、7月卸売物価指数、前週分新規失業保険申請件数、8月ミシガン大学消費者信頼感指数などが発表されます。

欧州ではユーロ圏で6月鉱工業生産、ユーロ圏とドイツで8月ZEW景況感調査、ドイツで7月消費者物価指数などがあります。

ほかには英国で4-6月期GDP（速報値）、6月GDPの発表などがあります。